

勝山精華高等学校 その三

唇間定時制高校として出発して6年後の昭和28年(1953)に危機が訪れた。朝鮮動乱の影響で兄弟会社が経営不振となり、翌年には援助が打ち切られる事態となった。29年4月、廃校が存続が目途がたたないまま学校は新学期を迎えたが大問題であった。

残された生徒をどうするか、転校させるか、勝山高校分校とするか、県移管にしても県予算は既に決定していた。勝山町営業も出たが町は市制実現のためその余裕はなかった。こうした中で生徒会・教職員・兄弟会社、町長以下議員や町民も加わり町ぐるみで県営移管運動が繰り広げられた。生徒は帰省して署名集めを、教職員は県下の高校に出向き支持を訴えた。県議会もこうした運動に押され、6月議会で県移管が上程され、31日県立勝山精華高校が成立した。その後の校史を簡略にたどる。38年「働字一如」が学校教育目標に、40年二部制併設が決定、50年になるとオイルショックの影響が深刻となり

2部制応募者急減。同年末全日制への移行が発表され、51年から全日制普通科・定時制唇間一部制普通科の2本建で再出発することになった。普通科志向が強まる中で精華の活性化、奥越地域における職業教育の近代化などを目指し、平成元年(1989)に職業系高校に転換されることになり、校名を勝山南高校とした。校名は南部中学・南小学校などがあり、南のつく学校がなじみやすいためであった。こうして情報・経営実務・生活経営の3学科の職業系高校として生まれかわった。平成4年に津村節子作詞、三木たかし作曲の校歌が作られた。しかし同23年大野東高校と合併し奥越明成高校となり閉校、跡地には奥越支援学校が置かれた。



勝山南高校跡地記念碑



【ゲストランナー】



君原健二氏
かつやま
マラソン大使



川内優輝氏
あいおいニッセイ
同和損保 所属



川内侑子氏
あいおいニッセイ
同和損保 所属

第21回 恐竜クロカンマラソン

出場者募集!



申込はこちら(ランネット)
申込締切 4月21日(月)

園健康体育課(ジオアリーナ内) ☎88-8127

ジオアリーナをスタートし勝山城博物館、平泉寺白山神社などをはじめ、中山間地の田園風景が広がる風光明媚な景色を堪能した後、越前大仏に帰ってくるコースで実施します。

コース全体が舗装され10km、20kmの部はアップダウンの続く厳しいコースとなっています。

また、恐竜のコスチュームを着て各種目に参加された方の中から恐竜パフォーマンス賞を表彰します。(3組)



大会要項

川内優輝ランニング交流会

とき▶6月7日(出) 13:00~(受付:13:30~)

ところ▶成器西小学校グラウンド

※雨天時は成器西小学校体育館

対象▶市内の小中学生

参加費▶無料

定員▶30人(先着順)

申込方法▶申込用紙をジオアリーナに提出

申込期限▶4月21日(月)

6月8日(日)

スタート地点(集合場所)▶ジオアリーナ

ゴール地点▶越前大仏(清大寺)

マラソン部門▶ファミリー 2km

2km、3.3km、5km、10km、20km

ウォーキング部門▶5km・10km



コース紹介

コース・種目が一部変更になります
当日長山~平泉寺の一部区間で、交通規制を実施します。ご迷惑をおかけしますがご理解、ご協力をお願いします。

勝山恐竜クロカンマラソンは「独立行政法人日本スポーツ振興センター」が所管する「スポーツ振興くじ(通称:toto)の助成を受けて開催しています。(第9回~第20回)



スポーツ振興くじの詳細はこちら

スマイル

Pick Up!

市民の笑顔
お届けします

三津谷 正典さん (75) = 滝波町2=

明治44年にアメリカへ出張した祖父からの絵はがきの内容をまとめた「113年前の絵葉書が語る祖父(中村弘)アメリカ出張全記録」が昨年12月に出版されました。

出版したのは、孫にあたる三津谷正典さんです。絵はがきは、50年近く前に母の遺品の中から見つかり、枚数は175枚にもなります。絵はがきに書かれていた文字が読めず、手つかずの状態でしたが、さわやか大学での講義をきっかけに、数年前から少しずつ絵はがきの内容を解明してきたそうです。

「絵はがきに描かれている風景からは、100年以上前のアメリカの産業や文化などを感じる事ができます。当時の日本との違いを思いながらお楽しみください。また、当時の日本に祖父のような仕事をしていた人がいたということも知ってもらえると嬉しいです。」と三津谷さんは話されていました。

冊子は、勝山市立図書館、村岡まちづくり会館のほか、大野市や福井市の一部の図書館でご覧いただけるほか、勝山サンプラザ内の書店で販売されています。

実際の絵はがき

100年以上前の絵はがきをお楽しみください